

ECO NEWS



環境マネジメントについて！

当院では、循環型社会に基づく環境保全活動の推進に伴い、年ごとに目標を定め、3R（リデュース・リユース・リサイクル）を始め、電気や石化燃料などのエネルギー使用の削減、廃棄物の抑制、ゴミ拾い活動への参画と、様々な取組を積極的に行なっております。

また、院内では各部署が互いにチェックを行ない、そこから得た成果を水平展開していく事と、目標に対し定期的に評価や見直しを行う事で、次年度の目標へ反映し、PDCAサイクルを繋げるといった仕組みづくりを行なっております。

このような取組の中で、より充実した仕組みづくりを行なうため、溪仁会グループ全体では、今までに取り入れた第三者評価機能を活用し、独自のマネジメントシステム（KMS）の構築を進めております。また、この事からCSRに基づく環境活動への取組は、新たに環境保護規定と定め、今後も幅を広げて行きたいと考えております。

ロビーコンサート

7月21日、初夏のコンサートと題して「ムジカ ムボンテ」の皆様、民族楽器を使った音楽を披露していただきました。ピアノとサクソさらに普段あまり馴染みがないマリンバやコンガ等の楽器を使い「アマポーラ」、「情熱大陸」、「故郷」、「浜辺の歌」等をオリジナルアレンジで演奏していただきました。

患者様・ご家族様・スタッフも最後はムジカ ムボンテの皆様の音楽に合わせて合唱し、会場は大いに盛り上がりました。



編集後記

ロンドンオリンピックも終わり、寝不足の日々が終わりました。オリンピック期間中は、金メダルを目指し戦う選手たちに刺激を受ける毎日でした。目標を再確認し、自分がなすべきことは何かを考え、改めてがんばっていきましょう！！

すべての
お問い合わせは

郵便 〒064-8557
札幌市中央区円山西町4丁目7-25
札幌西円山病院 地域連携推進室内
広報誌「にしまるやま通信」編集事務局

お気軽にお問い合わせ下さい！

電話 (011) 644-1380
FAX (011) 642-4347

医療法人 溪仁会

〔医療法人溪仁会 札幌西円山病院 広報誌〕

にしまるやま通信

NO.76 2012年
7、8月号

札幌西円山病院のホームページにリハビリテーションセンター（回復期リハビリテーション病棟）のページができました。こちらのページに空床状況も掲載しておりますので、ぜひご活用ください！！

<http://www.keijinkai.com/nishimaru-yama/rehacenter/>

病棟	定床数	空床状況	備考
回復期リハ病棟	89	空	待機期1~2段階
障害者施設等一般病棟	189	満	待機期1~4月以内
医療療養病棟	296	満	待機期12~24月以内
介護療養病棟	310	満	待機期24月以上

- 診療技術部栄養科のご紹介Vol.6
- 夏祭り
- ボランティア総会
- ECO NEWS
- ロビーコンサート
- 編集後記

* * 札幌西円山病院のご案内 * *

- 診療科目 内科、神経内科、リハビリテーション科、循環器内科、歯科
- 病床数 866床（障害者施設等一般病棟、医療療養病棟、回復期リハビリテーション病棟、介護療養型医療施設）

診療技術部栄養科のご紹介 Vol.6

～当院の食事内容について～

当院では高齢の方が多く入院されることから、安全で嚥下機能に合わせて食べやすい食事形態を用意しています。医師、看護師、言語聴覚士と連携をとりながら、患者様個々人の嚥下機能に適した食事形態を選択、提供をしています。

当院の食事形態

主食：米飯 軟らか御飯 全粥 7分粥 5分粥 3分粥 重湯 ペースト粥 重湯ゼリー

副食：常菜 刻み菜 五分菜 軟菜食 ミキサー食 ゼリー食 流動食

食事形態紹介の第2弾として、ミキサー食、ゼリー食、流動食の形態の違いについて、また主食のペースト粥、重湯ゼリーについても紹介します。

ミキサー食Ⅰ

～全てペースト状～

ミキサー食Ⅱ



全てペースト状にし片栗粉や増粘剤等を使用しトロミをつけ飲み込みに考慮した食事となっています。



1回の食事量が取れない方には、全体量を少なくし不足する栄養素を栄養補助食品で補っています。

ゼリー開始食

～全てゼリー状～

維持食

流動食 ～全て流動状～



嚥下機能低下が見られ、少量のゼリーから提供を開始する食事です。



全てゼリーで出来ており、おかずゼリーなど量が増えます。また全粥など主食が付きます。



嚥下機能低下しており、固形物の摂取が難しい方の食事です。

主食も全粥の他に、嚥下機能の程度に合わせて用意しています。

ペースト粥

重湯ゼリー



全粥の粒や水分でむせてしまう方に、粥をミキサーにかけて粒を全てない状態にしています。



全粥などの摂取が難しい方に、喉の通りが良いように重湯をゼリー状にしています。



8月9日、恒例の夏祭りが病院屋上で行われました。今年は計画停電の可能性もあり、ぎりぎりまで開催が危ぶまれましたが無事に開催することができました。当日はやや風は強いものの天候にも恵まれ、盆踊りやヨーヨー釣り、射的、わた飴やカキ氷など縁日の雰囲気を感じていただけたのではないかと思います。患者様・ご家族様の楽しそうな笑顔を見て、今後もこうした行事を通して皆様の生活に張りが出るようなお手伝いをしていきたいと感じた1日でした。



平成24年度 ボランティアグループ「銀の舟」 総会・交流会

6月14日に平成24年度ボランティアグループ「銀の舟」総会・ハンドマッサージ体験・交流会が開催され、16名のボランティアさんが参加されました。当院の職員が中心となり、2人1組でハンドマッサージを行うことで、ボランティアさん同士コミュニケーションをとることができ、とても興味深く参加されていました。

昼食は職員・ボランティアの皆さんと一緒に会食し、とても和やかな雰囲気でお楽しみいただくことができました。

今年度も、患者様の生活がより楽しくなるようボランティアさんによる活動を充実していきたいと思えます。ボランティアグループ「銀の舟」では、新規のボランティアさんを募集しております。ご興味のある方は、是非ボランティア事務局までお問い合わせください。

ボランティアグループ「銀の舟」事務局 011-644-1380 (地域連携推進室直通)

